

愛称：リソナ ペア・インカム

# アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンド

追加型投信／海外／債券

## 第 40 作成期

第234期（決算日 2023年6月12日）

第235期（決算日 2023年7月12日）

第236期（決算日 2023年8月14日）

第237期（決算日 2023年9月12日）

第238期（決算日 2023年10月12日）

第239期（決算日 2023年11月13日）

作成対象期間（2023年5月13日～2023年11月13日）

第239期末（2023年11月13日）	
基準価額	4,818円
純資産総額	2,488百万円
第234期～第239期	
騰落率	9.4%
分配金（税込み）合計	180円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主として、米国債券市場(社債等)へ投資する投資信託証券、「ドイチェ・米国投資適格社債ファンド(適格機関投資家専用)」と、ユーロ債券市場(国債等公共債・国際機関債・社債等)へ投資する投資信託証券、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」および「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」を主な投資対象とし、中長期的な信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。米国債券市場へ投資する投資信託証券とユーロ債券市場へ投資する投資信託証券の組入比率は、原則として、均等配分を基本とします。投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。投資信託証券への投資にあたっては、投資信託証券を通して、分散投資を行うことを基本とします。原則として、為替ヘッジは行いません。当作成対象期間につきましてそれぞれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

#### 【閲覧方法】

- 右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先> お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

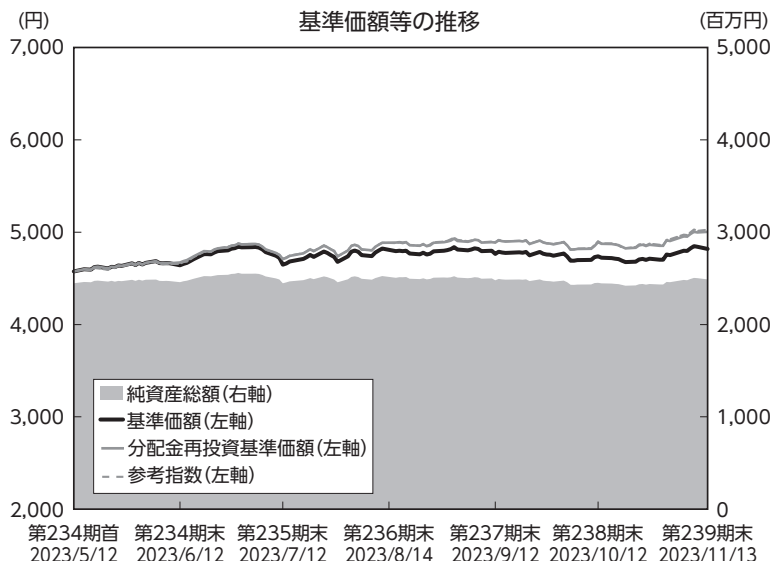
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

<3257959・3270923>

# 運用経過

## 基準価額等の推移

第234期首	4,575円
第239期末	4,818円
既払分配金 (税込み)	180円
騰落率	9.4% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ米国社債インデックス（円ベース）×50%+ブルームバーグ・ユーロ社債インデックス（円ベース）×40%+ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円ベース）×10%です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年5月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

- ① 当作成期を通じて、米ドル、ユーロがともに対円で上昇したこと
- ② 米国および欧州において、当作成期初にクレジット・スプレッド（国債との利回り格差）が縮小したこと
- ③ 当作成期末にかけて、米国での利上げ局面終了への期待から、米欧ともに国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと

### 下落要因

- ① 当作成期を通じて、米欧のインフレ率は減速しているものの依然として高水準であり、金融政策の不透明感から米欧の国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと
- ② 当作成期を通じて、米国および欧州の中央銀行が政策金利の引き上げを継続し、金利を長期間にわたり高水準に維持していること

## 1万口当たりの費用明細

項 目	第234期～第239期 (2023年5月13日 ～2023年11月13日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	18円 ( 4) (13)  ( 1)	0.378% (0.083) (0.278)  (0.017)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (監査費用) (その他)	0 ( 0) ( 0)	0.006 (0.005) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	18	0.384	
期中の平均基準価額は4,754円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

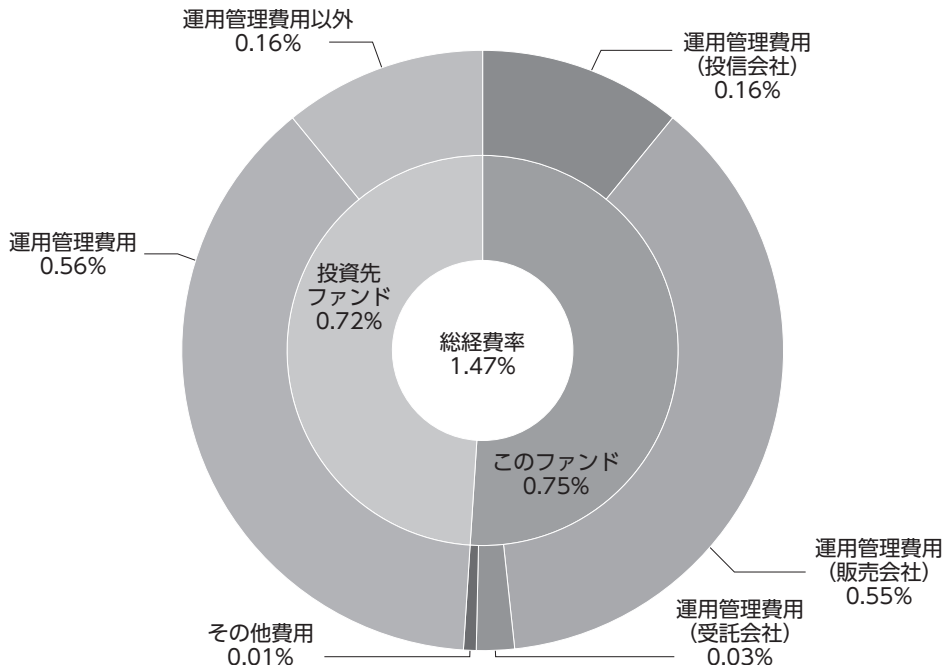
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



総経費率 (①+②+③)	1.47%
①このファンドの費用の比率	0.75%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

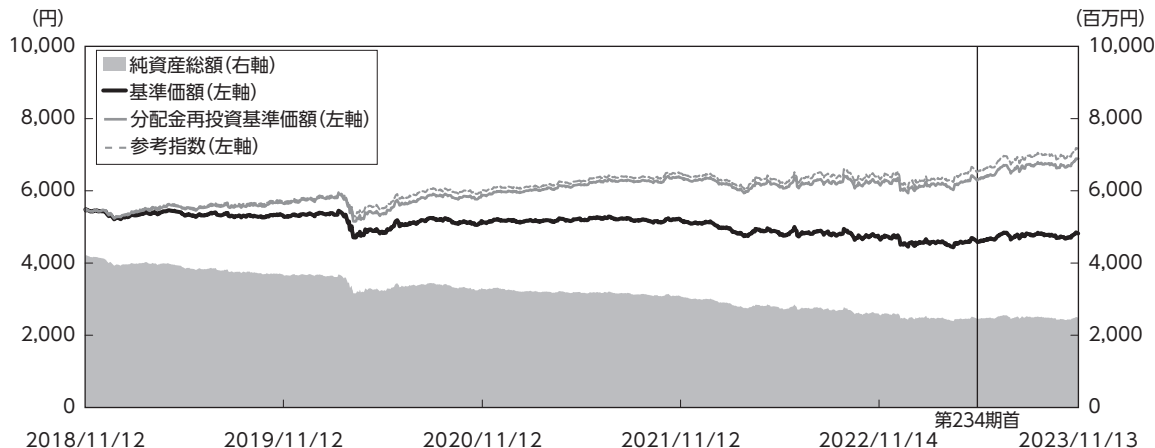
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月12日～2023年11月13日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ米国社債インデックス(円ベース)×50%+ブルームバーグ・ユーロ社債インデックス(円ベース)×40%+ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス(円ベース)×10%です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年11月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/11/12 期首	2019/11/12 決算日	2020/11/12 決算日	2021/11/12 決算日	2022/11/14 決算日	2023/11/13 決算日
基準価額(円)	5,485	5,287	5,128	5,174	4,642	4,818
期間分配金合計(税込)(円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	3.1	4.0	8.1	-3.4	12.1
参考指数騰落率(%)	—	3.9	5.5	7.8	-2.7	13.8
純資産総額(百万円)	4,219	3,658	3,282	3,066	2,546	2,488

(注) 参考指数は、ブルームバーグ米国社債インデックスのパフォーマンス(円ベース)×50%+ブルームバーグ・ユーロ社債インデックスのパフォーマンス(円ベース)×40%+ブルームバーグ・ユーロ総合インデックスのパフォーマンス(円ベース)×10%です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

「Bloomberg®」および各ブルームバーグ・インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

## 投資環境

### 〈米国債券市場〉

当作成期の米国国債市場では、10年国債利回りは上昇しました。粘着的なインフレを背景としたFRB（米連邦準備理事会）の高金利政策の長期化観測や、主要経済指標が良好で米国経済の底堅さが示されたことを受けて、長期金利は上昇しました。

社債市場においては、FRBの金融引き締めと長期化観測は重しとなったものの、利回りの高さを見直す資金流入がみられ、投資適格社債の米国国債に対するスプレッドは縮小しました。しかしながら、金利上昇を背景に、米ドル建ての投資適格社債のリターンはマイナスとなりました。セクター別でのリターンは、金融、産業、公益の順となりました。

### 〈欧州債券市場〉

当作成期の欧州債券市場では、インフレ率の減速が予想よりも遅いことを背景に金利は上昇しました。当作成期初、欧州の経済指標は市場予想に近づいたものの、インフレ率の減速ペースは緩慢な動きとなりました。また8月に発表された7月の中国の経済活動データは需要と供給の指標の伸びがいずれも低調で、大きなサプライズとなりました。これは欧州市場への影響の観点から警戒され、クレジット・スプレッドが拡大しました。その後、10月に起きた中東紛争は市場の強い懸念要因となり、リスク回避姿勢が急速に広がったものの、状況はおおむね抑制的で、エネルギー価格への大きな影響はみられませんでした。こうした状況下、社債市場での発行額は低水準で推移しました。さらに、欧米の政策金利はピークに達しているとみられる中、ECB（欧州中央銀行）とFRBはいずれも直近の会合で政策金利を据え置きましたが、必要な場合は、さらなる利上げの可能性を排除しませんでした。こうした状況において、国債利回りは上昇し、クレジット・スプレッドは当作成期中に縮小しました。

### 〈為替市場〉（米ドルおよびユーロ）

当作成期、米ドル／円相場は134円台で取引を開始し、6月末にかけて145円近辺まで上昇しました。その後、7月中旬にかけては、米国のインフレ圧力の低下や景気後退懸念、さらには金融当局による市場介入に対する警戒感や日銀による金融政策修正への思惑が広がり、米ドルは一時弱含み130円台後半まで下落しました。しかし、日銀による長期金利操作の柔軟化を受けても日本の長期金利は大きく上昇せず、一方米国では再びインフレ懸念の台頭や長期金利の上昇がみられ、米ドルが再び上昇に転じると、当作成期末にかけて上昇基調を維持し、150円台を超える水準で作成期末を迎えました。

当作成期、ユーロ／円相場は146円台後半で取引を開始し、ECBによる利上げを背景にユーロは緩やかに上昇し、6月末には157円をつけました。その後、160円の手前でしばらくもみ合ったのち、当作成期末にかけてユーロは再び上昇し、162円台で当作成期末を迎えました。

## ポートフォリオ 〈当ファンド〉

当ファンドは、ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）、Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド、Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドの三つのファンドに投資することにより米国・ユーロ各国の国債等公共債、国際機関債、社債等へ幅広く投資しています。個別債券の実質的運用はそれぞれの投資先ファンドで行われ、アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンドは中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目的としています。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

## 〈ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）〉

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に米国の信用力の高い事業債に幅広く分散投資を行うことで、個別銘柄のリスクを最小限に抑えつつ、信託財産の長期的な成長とインカムゲインの確保を目指して運用を行いました。

ポートフォリオのデュレーションについては、当作成期を通して短めからベンチマーク付近で調整しました。年限別では、長期年限をオーバーウェイトとした一方、超長期年限をアンダーウェイトとしました。セクター別の配分に関しては、産業、金融セクターの配分をアンダーウェイトとした一方で、公益セクターの配分をオーバーウェイトに保ちました。

（ドイツ・アセット・マネジメント株式会社）

## 〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

当ファンドは当作成期中、デュレーションのアンダーウェイト幅を減らし、ポジションを中立としました。さらに、社債へのオーバーウェイト幅を減らし、中立程度としました。当作成期、当ファンドはベンチマークをアウトパフォームしました。年限配分がプラス寄与しました。

（アムンディ・アセットマネジメント）

## 〈Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド〉

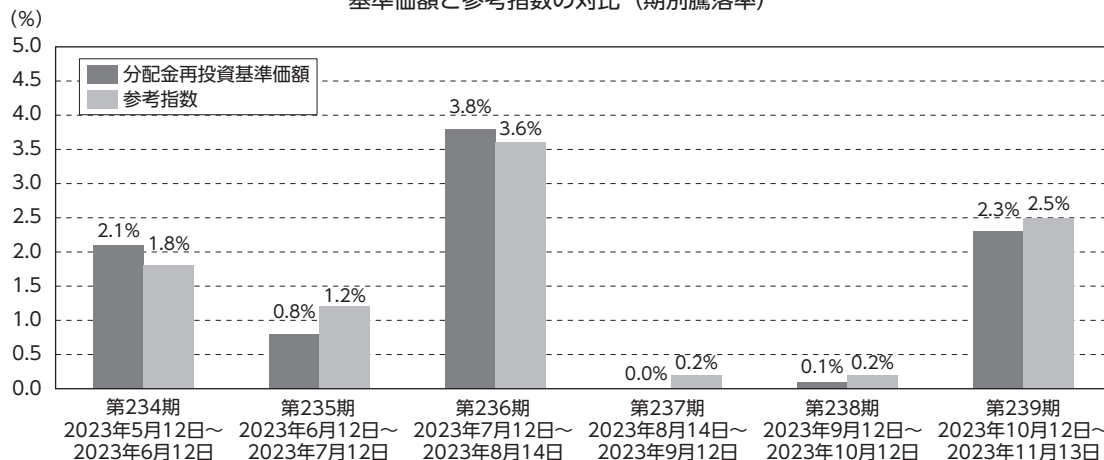
当ファンドは当作成期中、ベンチマーク対比で高めのクレジット・リスクを維持しました。デュレーションはおおむねベンチマークと同程度を維持しました。社債のセクター配分では金融セクターのオーバーウェイトを継続しました。当作成期、当ファンドはベンチマークをアウトパフォームしました。社債のオーバーウェイト、銀行のAT1債の保有がプラスに寄与しました。

（アムンディ・アセットマネジメント）

## ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はブルームバーグ米国社債インデックス（円ベース）×50%+ブルームバーグ・ユーロ社債インデックス（円ベース）×40%+ブルームバーグ・ユーロ総合インデックス（円ベース）×10%です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	(2023年5月13日 ～2023年6月12日)	(2023年6月13日 ～2023年7月12日)	(2023年7月13日 ～2023年8月14日)	(2023年8月15日 ～2023年9月12日)	(2023年9月13日 ～2023年10月12日)	(2023年10月13日 ～2023年11月13日)
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	(0.642%)	(0.641%)	(0.622%)	(0.626%)	(0.629%)	(0.619%)
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	466	478	493	506	519	534

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 〈当ファンド〉

ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）、Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド、Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドの投資比率は今後も現状を維持する予定です。（アムンディ・ジャパン株式会社）

### 〈ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）〉

当ファンドでは、主に米国の信用力の高い事業債に幅広く分散投資を行うことで、個別銘柄のリスクを最小限に抑えつつ、信託財産の長期的な成長とインカムゲインの確保を目指して運用を行います。

国債市場については、インフレがFRBの目標より高い水準で長期間推移する可能性があることから、将来の金融政策をめぐる不透明感が高く、市場は変動性の高い状況が続くとみています。

社債市場は、一部の企業業績の悪化懸念等が市場のマイナス材料となる見込みです。一方で、企業は景気減速に備えておおむね健全な財務状況を維持していることや、米国の景気は減速に向かうも大幅な景気後退は避けられると予想されることから、企業の急速な財務状況の悪化は避けられると考えています。中長期的には、社債の高い利回りへの需要は市場にプラスに働くと考えています。運用方針につきましては、金利水準と安定性を考慮しながら、BBB格の社債を中心に組入れを行う方針としています。（ドイツ・アセット・マネジメント株式会社）

### 〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

金融引き締めサイクルが終了しているとみられる中、市場はそれほど遠からず、すでに2024年後半と予想されている短期金利の引き下げを織り込むとみています。一方で、米国経済がこれまでと同様に順調に推移する場合や、インフレ率の低下が欧州の家計の購買力を押し上げる場合には、タームプレミアムの上昇が続くと考えます。こうした中、短期セクターは相対的に恩恵を受けやすいとみています。

（アムンディ・アセットマネジメント）

### 〈Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド〉

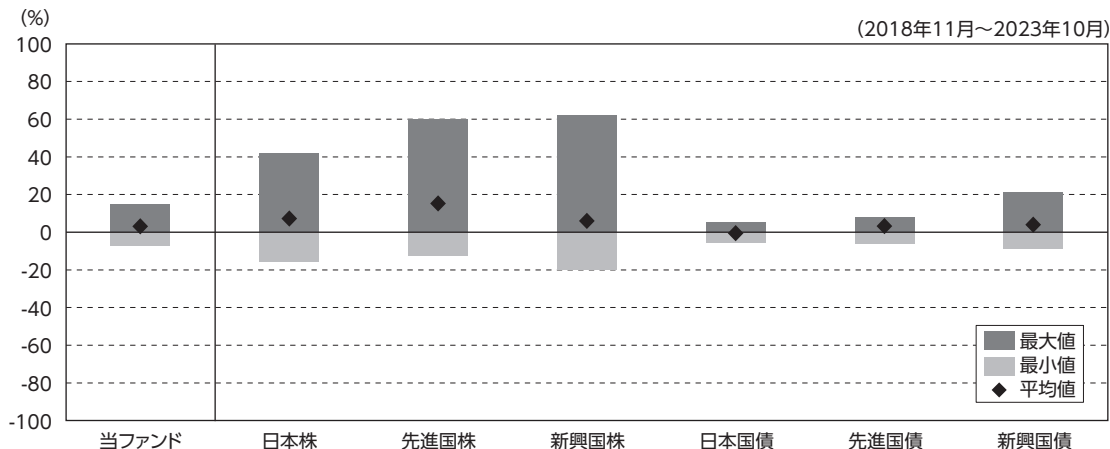
当ファンドは社債に対し前向きなスタンスを維持しています。社債市場は依然として明確な方向性を欠き、発行市場は低調で、グローバル経済に対する地政学的な状況や長期間にわたる高金利の影響をめぐる不透明感を背景に、金利のボラティリティ（変動性）が高い状態が根強く続いています。しかし、社債のバリュエーションはなお割安であり、スプレッドのボラティリティに耐えうると考えます。

（アムンディ・アセットマネジメント）

## ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年11月14日から無期限です。	
運用方針	主として、米国債券市場（社債等）へ投資する投資信託証券、「ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）」と、ユーロ債券市場（国債等公共債・国際機関債・社債等）へ投資する投資信託証券、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」および「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」を主な投資対象とし、中長期的な信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンド	ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用） Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド
	ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）	米国の事業債
	Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド	ユーロ建の国債等公共債・国際機関債・社債
	Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド	ユーロ建の社債
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 米国債券市場へ投資する投資信託証券とユーロ債券市場へ投資する投資信託証券に投資します。</li> <li>② 米国債券市場へ投資する投資信託証券とユーロ債券市場へ投資する投資信託証券の組入比率は、原則として、均等配分を基本とします。委託会社の判断により、為替や各投資信託証券の基準価額の変動を考慮し、3ヵ月毎にリバランスを行います。</li> <li>③ 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</li> <li>④ 投資信託証券への投資にあたっては、委託会社が指定する投資信託証券を通して、分散投資を行うことを基本とします。投資信託証券への投資の結果、全体のポートフォリオの格付が、原則としてシングルA格【A-格（スタンダード&amp;プアーズ社）／A3格（ムーディーズ社）】以上とすることを目指します。また、各投資信託証券の組入対象債券の格付は、原則として、投資適格債（トリプルB格（BBB-／Baa3）以上）とします。</li> <li>⑤ 組入投資信託証券は、委託会社の判断により、適宜見直しを行います。この場合において、組入対象とされていた投資信託証券は、変更されることがあります。</li> </ol>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月12日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



### 当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.1	7.2	15.2	5.9	-0.6	3.1	3.9
最大値	14.8	42.1	59.8	62.1	5.4	7.9	21.5
最小値	-7.3	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド

2023年11月13日現在

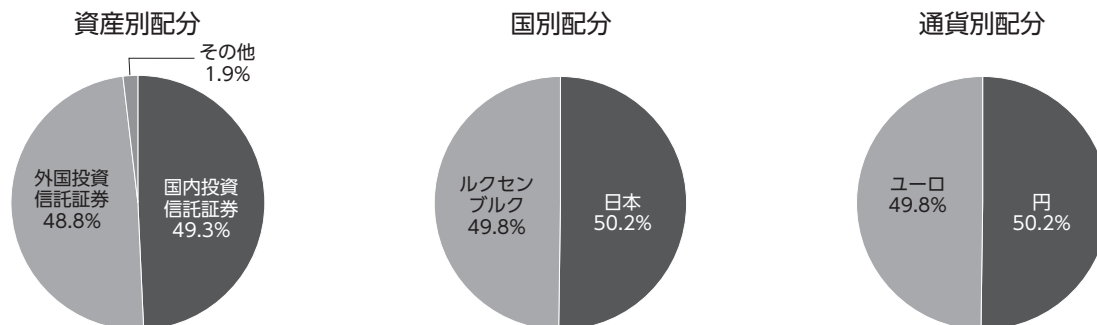
(組入銘柄数：3銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	ドイチェ・米国投資適格社債ファンド (適格機関投資家専用)	円	49.3%
2	Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドー毎月分配クラス	ユーロ	44.0%
3	Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドー毎月分配クラス	ユーロ	4.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

### 種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

### 純資産等

項目	第234期末 2023年6月12日	第235期末 2023年7月12日	第236期末 2023年8月14日	第237期末 2023年9月12日	第238期末 2023年10月12日	第239期末 2023年11月13日
純資産総額	2,458,396,868円	2,446,503,767円	2,505,906,777円	2,478,853,157円	2,451,368,905円	2,488,301,119円
受益権総口数	5,297,409,978口	5,264,340,045口	5,227,093,983口	5,203,751,493口	5,173,954,009口	5,164,319,311口
1万円当たり基準価額	4,641円	4,647円	4,794円	4,764円	4,738円	4,818円

※当作成期間 (第234期～第239期) 中における追加設定元本額は41,766,559円、同解約元本額は225,414,133円です。

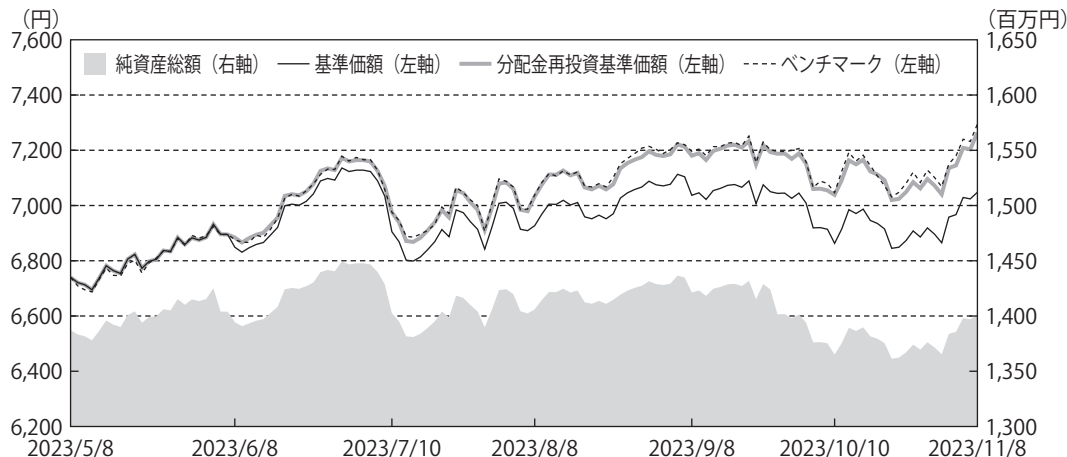
## 組入ファンドの概要

### < ドイチェ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用） >

第239期末 決算日：2023年11月8日

(作成対象期間 第234期～第239期：2023年5月9日～2023年11月8日)

## ■ 基準価額等の推移



※ ベンチマーク：ブルームバーグ・パークレイズ米国社債インデックス

※ ベンチマークは作成期首を基準価額と同じ値として表示しております。

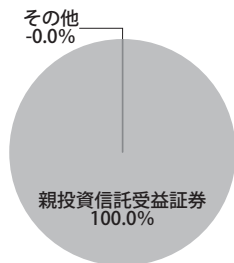
## ■ 組入上位ファンド

項	目	第239期末
		2023年11月8日
ドイチェ・米国投資適格社債マザーファンド		100.0%

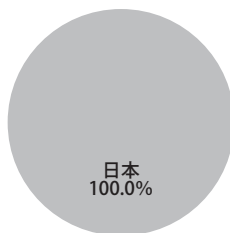
(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

## ■ 種別構成

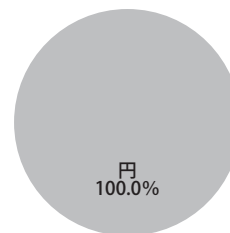
### ◆ 資産別配分



### ◆ 国別配分



### ◆ 通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

## ■1万口当たりの費用明細

項 目	第234期～第239期 2023年5月9日～2023年11月8日		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	21円	0.304%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は6,984円です。
(投信会社)	(19)	(0.277)	委託した資金の運用等の対価
(販売会社)	(0)	(0.006)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	6	0.079	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.029)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	(3)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	27	0.384	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

## <参考情報>

### ドイツ・米国投資適格社債マザーファンド（2022年11月9日～2023年11月8日）

#### ◆基準価額の推移



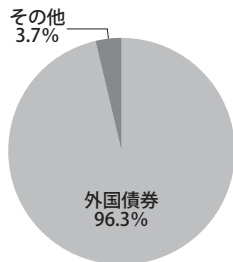
※ベンチマーク：ブルームバーグ米国社債インデックス  
 ※ベンチマークは期首を基準価額と同じ値として表示しております。

#### ◆上位10銘柄

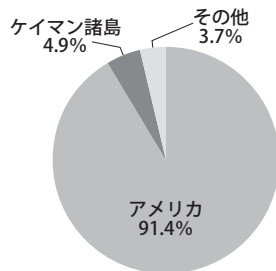
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	F 7.45% 07/16/31	アメリカ	米ドル	8.3%
2	BRKHEC 8.48% 09/15/28	アメリカ	米ドル	8.0%
3	NATMUT 9.375% 08/15/39	アメリカ	米ドル	7.8%
4	UNIV CA REVS-BABS 5.946%	アメリカ	米ドル	6.5%
5	DELL 8.1% 07/15/36	アメリカ	米ドル	6.2%
6	NRUC 8% 03/01/32	アメリカ	米ドル	6.1%
7	MS 6.25% 08/09/26	アメリカ	米ドル	5.1%
8	WMB 7.85% 02/01/26	アメリカ	米ドル	5.0%
9	VALEBZ 6.875% 11/21/36	ケイマン諸島	米ドル	4.9%
10	EXC 7.6% 04/01/32	アメリカ	米ドル	4.6%
組入銘柄数			20銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
 (注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全版本）に記載しております。

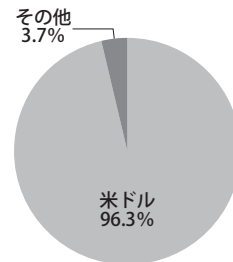
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
 (注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

## ◆1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2022年11月9日～2023年11月8日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	0円 ( 0)	0.002% (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	16 (16)	0.056 (0.056)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	16	0.058	

期中の平均基準価額は27,618円です

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 組入ファンドの概要

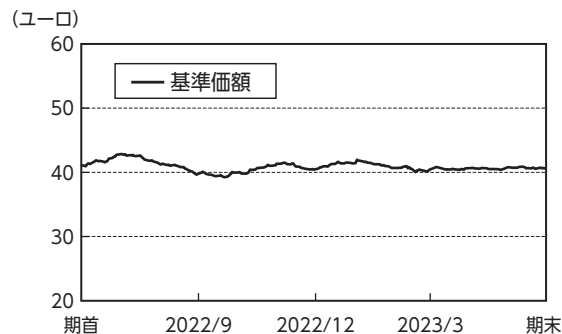
### <Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

### 基準価額の推移 (毎月分配クラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 組入上位10銘柄

2023年6月30日現在  
(組入銘柄数：329銘柄)

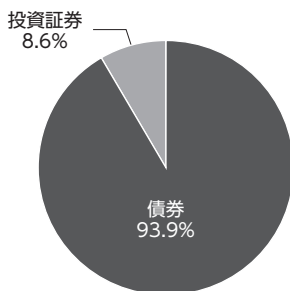
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	BTF 0% 20/09/2023	ユーロ	フランス	5.1%
2	AMUNDI EURO LIQUIDITYSHORT TERM SRI FCP	ユーロ	フランス	1.7%
3	AMUNDI FRN CREDIT EURO VALUE FACTOR FCP	ユーロ	フランス	1.1%
4	AMUNDI FUNDS EUROPEAN SUBORDINATED BOND ESG	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
5	AMUNDI FUNDS EURO CORPORATE SHORT TERM GREEN BOND	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
6	UNIBAIL RODAMCO SE VAR PERP	ユーロ	フランス	1.0%
7	AMUNDI FUNDS SICAV NET ZERO AMBITION GLOBAL CORPORATE BOND	ユーロ	ルクセンブルク	0.8%
8	CAIXABANK SA VAR 30/05/2034	ユーロ	スペイン	0.8%
9	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG VAR PERPETUAL	ユーロ	スペイン	0.8%
10	DIAGEO FINANCE PLC 3.5% 26/06/2025	ユーロ	イギリス	0.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

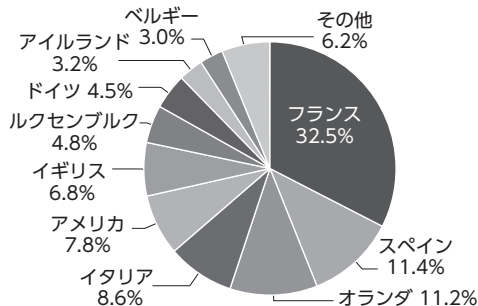
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

## 種別構成

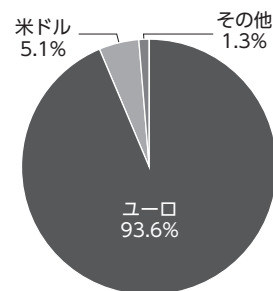
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

## 1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

## 組入ファンドの概要

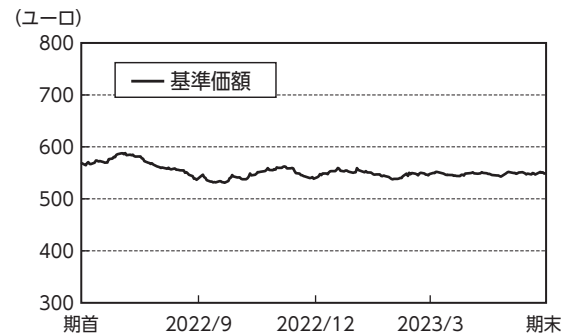
### <Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

### 基準価額の推移 (毎月分配クラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 組入上位10銘柄

2023年6月30日現在  
(組入銘柄数：327銘柄)

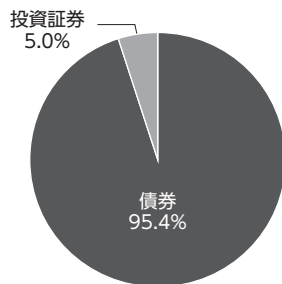
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	FRENCH REPUBLIC 1.25% 25/05/2036	ユーロ	フランス	1.8%
2	KINGDOM OF SPAIN 5.15% 31/10/2028	ユーロ	スペイン	1.6%
3	EUROPEAN INVESTMENT BANK 2.75% 28/07/2028	ユーロ	ルクセンブルク	1.6%
4	HELLENIC REPUBLIC 3.875% 15/06/2028	ユーロ	ギリシャ	1.6%
5	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY 0.25% 15/02/2027	ユーロ	ドイツ	1.6%
6	KINGDOM OF NETHERLANDS 0% 15/07/2031	ユーロ	オランダ	1.6%
7	EFSF 3% 15/12/2028	ユーロ	ルクセンブルク	1.1%
8	REPUBLIC OF FINLAND 1.5% 15/09/2032	ユーロ	フィンランド	1.1%
9	ITALIAN REPUBLIC 0.25% 15/03/2028	ユーロ	イタリア	1.0%
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1% 14/03/2031	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

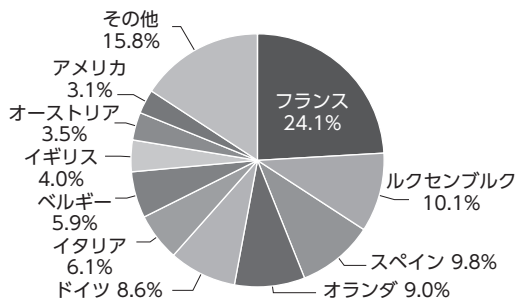
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

## 種別構成

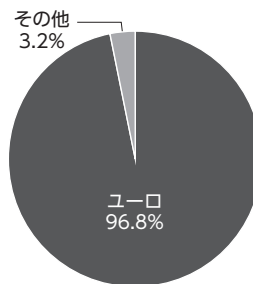
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

## 1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### • 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

#### • MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFRC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

#### • FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### • JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

**Amundi**  
**ASSET MANAGEMENT**  
アムンディ アセットマネジメント